

# レコード人気

## 「針」に活気

海外も増産依頼



### 最大手ナガオカ月産20万本

レコード針の生産が回復しつつある。音楽を楽しむ

媒体がCD、インターネット配信に移り、針の需要は右肩上がりが続いているが、近年のレコード人気の再来で、レコード針の最大手メーカーであるナガオカ

(山形県東根市)の生産現場に活気が戻ってきた。

ナガオカの生産量は同二十万本にまで回復した。

長岡香江社長(四四)は、「初めは退職した大人たちだけかと思つたが、若いファンも増えている」と歓迎す

る。レコード針は直径・二五ミリと極めて細い。長期の使用に耐えるダイヤモンドを先端に使つ一方、軸部分にはチタンを用いて価格を抑える。針の装着などは手作業頼りで、熟練の技が必要だ。ナガオカの世界シェアは八割以上に達し、同社には国内外のレコード関連会社から針の増産依頼が来ている。

ナガオカは今年四月、パ

ソニックの音響機器ブラン

ド「テクニクス」、レコ

ード盤製作の東洋化成(東

待つてた  
ボージョレ

十一月十七日解禁のフランソワ新酒ワイン「ボージョレ・ヌーボー」の初荷

が二十九日朝、全日空の旅

客機で羽田空港に到着し

た。ボージョレ地区の生産

者団体によると、今年は春

にひょうの被害を受けた地

た。ボージョレ地区の生産